



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2014 - 2015 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーに輝きを」

R.I. 会長 ゲイリー C.K. ホアン
地区ガバナー 鈴木 孝 雄

クラブテーマ 「全員参加で楽しく」

クラブ会長 尾 泉 良 和



2014 年 10 月 15 日

第 1380 回例会

会長 尾 泉 良 和
幹事 潮 田 幸 一

本日の卓話

「伝統もはじめは前衛だった」

芝浦工業大学名誉教授 大内 浩様

今後の卓話予定

10/22 「味が噂 (にぎやか)、日本の食に思う

佐野味噌醤油(株)会長 佐野一信様

10/29 「健康に関する卓話」

田村順二会員

前回 (10/8 1379 回例会) の記録

来 訪 者 紹 介

◆ゲスト 1名

地区米山副委員長 志熊昌宏 様

◆ビジター 2名

東京足立R.C. 北澤艶子 様

東京浅草R.C. 竹花 元 様

出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修 正 出 席 率
46 名	2 名	4 名	36 名	5 名	87.8%	1377 回例会修正 欠席 7 名・出席率 83.33%

会長報告 <尾泉会長>

- ・10月は職業奉仕月間、米山月間です。これにちなんで、本日のゲストは地区米山奨学委員会副委員長の志能昌宏様で「米山奨学事業の現状」についてお話いただきます。

いよいよ 10 月 13 日・14 日は東北への復興支援視察旅行です。現在 21 名の参加申し込みがあります。心配な点は台風 19 号の動きです。台風情報を注意深く見守りたいと思います。

幹事報告 <潮田幹事>

- ・東京浅草R.C.より「ロータリーエクスプレスバンド ハロウィン ライブ!」のご案内がきております。10/27 18時～ 浅草ビューホテルにて です。

10/17締切ですので、ご出席希望の方は潮田・久保田までご連絡願います。

- ・東京池袋R.C.より例会変更のお知らせがきております。クラブ事務所にてご確認ください。

委員会報告

<社会奉仕委員会 斎藤委員長>

- ・復興支援被災地視察には21名の皆様に参加になりました。当日は午前7時出発しますので、遅れないようお願いいたします。又復路の交通手段が変更になりご迷惑をおかけし

て申し訳ございません。

<ゴルフ同好会 浜中幹事>

- ・10月6日の地区予選会が中止になり、本日ビューホテルで、抽選会が行われ、本選へは、本郷、王子、あすかの3クラブが選ばれました。

ニコニコボックス

<尾泉会長、潮田幹事>

- ・志熊昌宏様、本日の卓話よろしくお願いたします。

<宮村、山尾、上原、原田、松本>

- ・本日の卓話「米山奨学事業の現状」地区米山副委員長 志熊昌宏様、宜しくお願いたします。

<天笠、山尾、斎藤、大塚、海内、古谷、中村、小林(雅)>

- ・ノーベル物理学賞受賞

赤崎 勇、中村修二、天野 治

たくさんの失敗が役立った。

<関原、太田、小池>

- ・ツアー2連勝、錦織圭おめでとう
上海マスターズにも期待!!

<渡辺>

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

卓 話

「米山奨学事業の現状」



地区米山副委員長

志 熊 昌 宏 様

米山奨学事業は、日本のロータリークラブの父、東京ロータリークラブの創立者の米山梅吉氏の偉業をたたえ、氏の名前を関し、アジアからの留学生の支援を行い、日本と留学生の母国との懸け橋となる人材を育成するための奨学事業の試案を1952年東京ロータリークラブの古澤会長が発表。1954年第1号の奨学生として、タイの留学生ソムチャード氏が来日、その後、この奨学事業が日本全国のロータリークラブの合同事業となる。

米山奨学事業制度の特徴は、1959年から始まった「世話クラブ制度」、1971年から始まった「カウンセラー制度」であり、さらに指定大学制度の採用により、奨学生・カウンセラー・大学の指導教官の3者が連携し、奨学生に対し全面的なサポート制度が他に類を見ない特徴である。

今まで、18千人を超える留学生を支援し、現在も724名の留学生に奨学金を支援している。留学生に支給する奨学金は、日本全国からのロータリアンからの支援金であり、1年間の運用をした後、奨学金として支給され、奨学会の運営費は、運用資金が充てられており、ロータリアンからの寄付金は、学友会の運営資金には使われていない。

また、世界各国に、奨学生のOBOG会である学友会は設立され、学友会を通じ、または本人から直接「恩返し」の寄付が、奨学会に送られている。また、日本での研究の成果を生かし、母国で活躍する学友の多数おり、彼らの心の底には、奨学事業への感謝の気持ちが固く残っている。

しかし、近年、ロータリアンの減少等で、奨学事業への寄付金が減っており、支援できる留学生の数も減ってきている。そのため、第2580地区では、奨学事業への寄付が、一人平均2万円となるよう、ガバナーをはじめ、地区役員、米山奨学委員が切にお願いしている。

<今週担当 馬場洋介>